

美瑛富士・携帯トイレブース等点検パトロール実施報告書

(2024年版)

実施年月日	令和6年6月23日	団体名/所属先	山のトイレを考える会
参加人数	13人	報告者	磯部吉克

NO	点検項目	結果と措置内容
1	携帯トイレブース本体 (破損は無い、固定ロープの緩み等)	問題なし
2	携帯トイレブース内 (汚れていないか、便座の汚損はないか等)	
	ブース利用カウンター値	カウンター数値：4
3	小屋周辺のティッシュや汚物の散乱 状況 (ティッシュや汚物の回収数の確認、その 他のゴミ散乱状況確認、回収)	ティッシュ回収数：3ヶ所 汚物の回収数：なし ゴミの回収数：1ヶ所
4	小屋内外 (損傷した箇所はないか等)	避難小屋の看板が美瑛山岳会により新調された
5	小屋内 (清掃はされているか、放置したゴミはない か、小さなゴミは回収したか等)	関西からのツアー7名が宿泊していた。最後に 清掃してきた
6	回収ボックス (白金観光センター隣の トイレ横) *鍵はダイヤルキー 鍵NOは530 (ごみゼロ)	施錠はされていたか：されていた ゴミはなかったか：なし 使用済携帯トイレ2個のみ

感想・特記事項
<p>テントブース周辺にティッシュゴミが3ヶ所。生理用品と思われるゴミは1ヶ所。 昨秋の冬囲いのまま完全に残っており、目的が果たせたことに一同歓喜。引き続き冬囲い方法 を手順化し、誰が担当しても一定時間で同じレベルの冬囲いができるようにすべきである。 地球温暖化等の影響により、年々降雪量は少なく雪融けが早いことからブースの冬囲い外しは 今後も6月中旬に供用開始する方が良いと感じた。 鍵NOを周知するため、林道ゲート・小屋内・ブース内等5か所に掲示した</p>

参加者名 (※はリーダー)
<p>仲俣善雄、杉下圭史、幸村和実、城石謹爾、※磯部吉克の5名 環境省から2名、美瑛町役場から2名、美瑛山岳会から4名</p>

- 実施後、速やかに写真を添付し、メール(hokkaido@yamatoilet.jp)にて報告のこと
なお、参加者全員の集合写真を必須とし、他に活動中の写真等を数枚、1枚当たり300KB
以下のサイズに縮小(こだわりません)して添付いただくと幸いです。